

基本施策1 県民がスポーツに親しむことができる環境の充実

施策目標

県民がそれぞれの興味、関心、ライフステージに応じて、スポーツを「する・みる・ささえる」活動に参画し、一生涯にわたって主体的にスポーツを楽しむことができる環境の充実

現状と課題

1 本県人口の減少と少子高齢化の進行

本県の総人口は、平成10年の112万6千人をピークに減少に転じ、人口は毎年徐々に減り続けています。

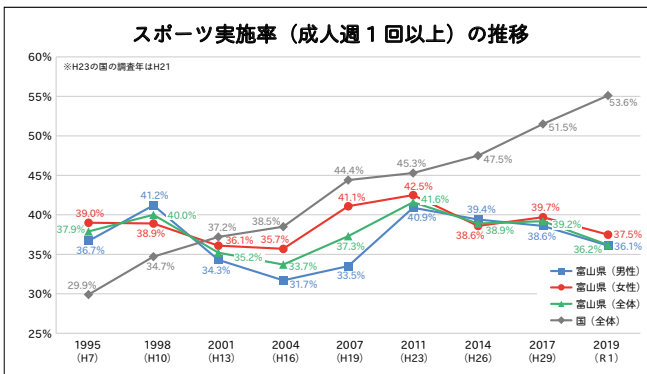
今後も、少子高齢化の進行に伴ってこれまで以上のスピードで人口の減少が見込まれ、令和7年には100万人を割り込み、老年人口（65歳以上）は年少人口（15歳未満）の3倍を超過する予測（国立社会保障・人口問題研究所推計）されており、県民が健康で活力ある生活を営むために、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりにより一層取り組む必要があります。



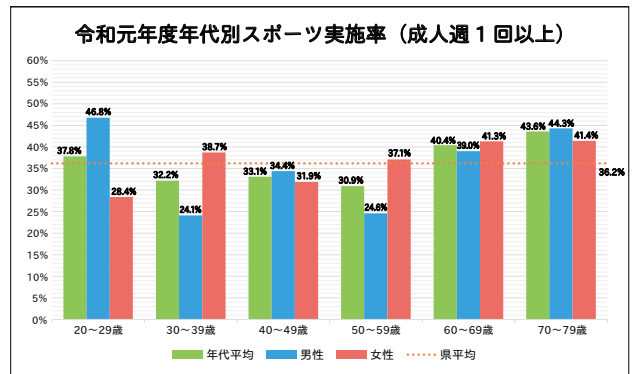
富山県民スポーツ・レクリエーション祭（カローリング）

2 県民のスポーツの実施状況

本県の成人の週1回以上のスポーツ実施率は36.2%（R1）で、前回調査（H29）に比べて減少し、国の53.6%（R1）を下回る結果となっています。一方、1年間スポーツを実施しなかった成人の割合は、本県は5.7%（R1）で前回調査（H29）に比べて微増しているものの、国の18.4%（H30）よりも下回っています。年齢別では60歳代、70歳代で高くなっていますが、20歳代の女性、30歳代から50歳代の男性・女性の実施率が低く、スポーツ参加を促進するために一層の取組が求められています。



資料：県政世論調査、スポーツ実施状況等に関する世論調査（文部科学省・スポーツ庁）を基に県スポーツ振興課が作成



資料：令和元年度県政世論調査

3 県民のスポーツ参加の機会づくり

本県では、県民の幅広いスポーツ志向に対応した総合的なスポーツ大会「富山県スポーツフェスタ」や総合型クラブが中心となって開催している「元気とやまスポレク交流大会」、幅広い世代の県民が参加できるウォーキングイベントとして「富山県民歩こう運動推進大会」などを開催し、県民のスポーツへの参加の機会づくりに努めてきました。

また、平成27年の北陸新幹線の開業に合わせて始まった「富山マラソン」では、毎年1万人以上のランナーが参加し、県内からの参加者も年々増加しています。

今後は、県民が日常生活の中で時間を見つけて気軽に運動やスポーツに親しむことができるような機会づくりにより一層取り組む必要があります。



富山県民歩こう運動推進大会

4 スポーツ情報の提供

県民が主体的にスポーツ活動に取り組むためには、スポーツに関する情報を容易に入手できる環境が必要であり、本県では平成12年に「とやまスポーツ情報ネットワーク」を構築し、スポーツイベントや施設など、県内の様々なスポーツ情報を提供しています。

今後も、県民が興味や関心を持つことができるように、また、初めての方でも参加したいと思うことができるように、各種の



とやまスポーツ情報ネットワークホームページ

スポーツ情報の充実を図るとともに、SNSを活用するなど効果的な情報提供を行う必要があります。

5 スポーツ施設の利用状況

(1) 公共スポーツ施設

県総合体育センターや県総合運動公園陸上競技場等の県営スポーツ施設は、県民のスポーツ活動の基盤として、国際大会や全国大会の開催をはじめ、健康・体力相談や競技力向上など本県の中核スポーツ施設として重要な役割を担っています。



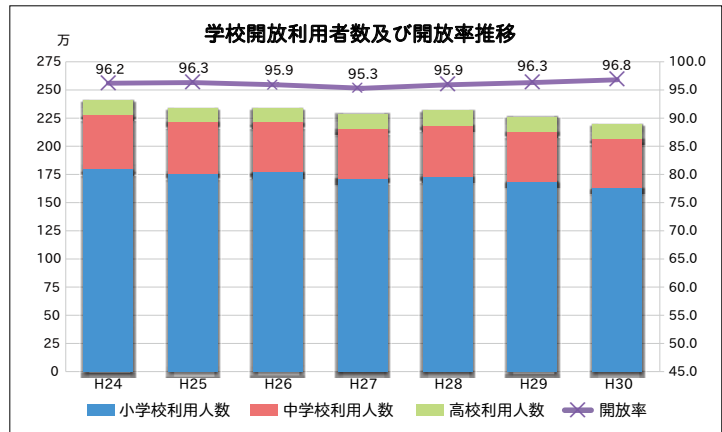
富山県総合体育センター

今後も、各種大会の開催や子ども、若者、高齢者、障害者等幅広い県民のスポーツ活動や健康増進への取組などに活用されるとともに、身近で利用しやすい施設となるよう、県民のニーズに応じた、安全で利便性に配慮した設備の整備、機能の充実に努める必要があります。

(2) 学校体育施設

本県では、ほとんどの学校で、グラウンドもしくは体育館の開放が行われており、年間を通して多くの県民に活用されています。

しかし、利用者や利用日時が固定化するなど、地域住民のニーズを満たしていない場合があることから、運営方法の改善を図るなど、学校体育施設開放を促進する取組が必要です。

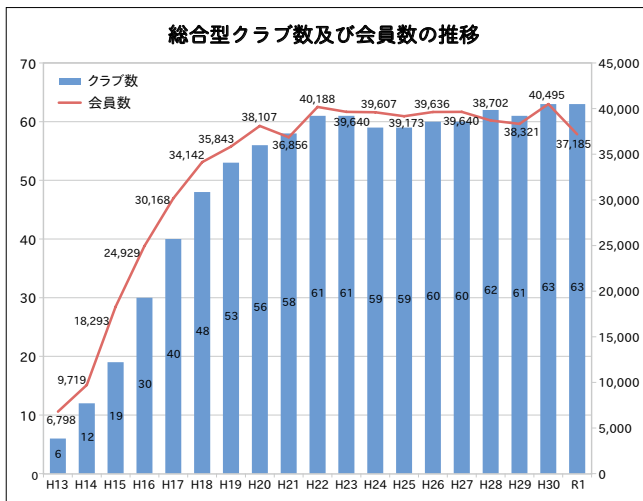


資料：県スポーツ振興課調べ

6 スポーツ関係団体の育成

本県では、公益財団法人富山県体育協会（以下、（公財）県体育協会）、県生涯スポーツ協議会、県スポーツ少年団本部、県スポーツ推進委員協議会、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、県女性スポーツの会、県障害者スポーツ協会などのスポーツ関係団体が、地域スポーツや障害者スポーツの推進母体として大きな役割を担っており、各団体の活動を支援しています。

また、総合型クラブの全市町村での設立が平成18年度に完了し、各地域で活発に活動しています。今後、地域スポーツの担い手として期待されている役割を果たしていくためには、財源や会員、



資料：総合型地域スポーツクラブに関する実態調査（文部科学省・スポーツ庁）を基に県スポーツ振興課が作成

指導者、スタッフの確保など、クラブの自主運営に向けての課題も多く、事業の充実やクラブの基盤強化を図るなど、質的な充実を目指して取り組む必要があります。

一方、中央競技団体をはじめとするスポーツ団体のガバナンスの機能不全により、様々な不祥事が生じており、本県スポーツ団体においても、コンプライアンス意識の徹底が求められています。

今後、一層のスポーツ振興を図るために、各団体の取組を継続して支援しながら、本県のスポーツ関係団体を統括する（公財）県体育協会を中心として、一体的な取組を推進するとともに、

団体相互の連携・協働のもと、より良い体制整備を検討していく必要があります。

具体的方策

1 スポーツ参加の機会づくりの推進

(1) 気軽にスポーツに参加できる機会の充実

より多くの県民が主体的にスポーツ活動に親しむことができるよう、関係機関等と連携しながら、若者をはじめ、子育て世代や働き盛り世代、高齢者など、それぞれのライフステージに応じ

て気軽にスポーツの楽しさや面白さを味わうことのできるイベントやスポーツ教室等への参加の機会の充実に努めます。

- 幅広い世代の県民が、それぞれの目的や好みに応じて参加できるよう、また、県民の健康づくりを推進するために、市町村やスポーツ団体等と連携し、富山県スポーツフェスタや富山県民歩こう運動推進大会など、スポーツイベントの充実に努めます。
- 子育て世代がスポーツを楽しむことは、スポーツ好きな子どもの育成にもつながると考えられることから、親子・三世代で参加できるスポーツイベント等の開催や託児付きのスポーツ教室の開催など、子育て世代の方々がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを積極的に推進します。
- スポーツ実施率の低い20～50代の働き盛り世代が積極的に運動やスポーツに親しむことができるよう、総合型クラブ等の関係機関と連携し、仕事の合間にできる体操やウォーキング等、日常生活の中で簡単に取り組むことができる運動・スポーツの普及・啓発を図るとともに、運動の習慣化やスポーツに親しむきっかけとなるような取組を推進します。
- 普段、家事や仕事、出産、子育て等により、運動やスポーツに親しむ機会が少なくなってきた女性が参加しやすい取組やニーズにあったスポーツ活動の機会の提供を推進します。

(2) 地域におけるスポーツ活動の推進

身近な地域でスポーツ活動に親しむことができる機会が充実することで、県民のスポーツ活動の習慣化も期待されることから、スポーツ活動の機会が確保できるよう、総合型クラブや地域のスポーツ推進の中核的な役割を担うスポーツ推進委員等の活動支援に努めます。

- 地域の活動場所として定着してきている総合型クラブでのスポーツ教室やスポーツ関係団体、競技スポーツ団体等が主催するスポーツ教室等の内容充実に向けての支援に努めます。
- 総合型クラブとスポーツ推進委員等との連携促進に努め、県民の身近な地域でスポーツ活動に親しむことができるよう推進します。

(3) 障害者スポーツの推進

障害のある人がスポーツ活動に参加できる機会を充実することで、障害者スポーツのすそ野の拡大や障害のある人の社会参加の促進が期待されます。また、障害者スポーツの推進により、障害や障害のある人に対する県民の理解が深まり、スポーツを通じた共生社会の実現につながることも期待されます。

- 市町村や関係機関、団体と連携し、障害のある人もない人も、共にウォーキングイベント・富山マラソン等のスポーツイベントや障害者スポーツ体験イベント、交流会、大会等に参加できる機会の充実に努めます。
- 障害のある人のスポーツ人口の拡大や競技水準の向上を図るために、富山県障害者スポーツ大会や障害者スポーツ教室等の実施など、障害者スポーツの普及に努めます。

(4) スポーツを通じた健康増進

日常的に運動やスポーツに取り組むことは、肥満・生活習慣病の予防や加齢に伴う運動能力の低下の防止、社会生活に必要な運動機能維持・向上を図ることができます。一人でも多くの県民が、いつまでも健康で過ごすために、手軽にできる運動やスポーツを通じた健康増進に努めます。

- 日常的に運動やスポーツに取り組むことができるよう、ウォーキング等の手軽にできる運動やスポーツの普及・啓発に取り組み、運動習慣の定着を図るとともに、総合型クラブや県スポーツ推進委員協議会等と連携し、活動機会の提供を推進します。
- 高齢化が進行する中、高齢者が健康で生きがいをもって、運動やスポーツに親しむことができるよう、関係機関や市町村と連携し、家庭等で手軽に継続してできる運動・スポーツプログラムの提供、公民館などでの健康教室の開催など、高齢者の健康づくり等の取組を推進します。
- 高齢者等が楽しみながら交流できるスポーツイベント・体験会等を行う「ねんりんスポーツフェスタ」を開催し、高齢者の社会参加や運動習慣の定着を推進します。

(5) スポーツ情報の効果的な提供

県民がそれぞれの興味・関心等に応じ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」活動に参画し、より一層スポーツを楽しむことができるよう、最新のスポーツ情報を収集・把握し、積極的な情報の発信に努めます。

- 本県のスポーツの総合的な情報発信サイトとして位置付けている「とやまスポーツ情報ネットワーク」に、競技スポーツ大会や市町村で開催されるスポーツイベント、指導者やボランティア活動、県内体育施設の紹介等の各種情報を集約し、利用者にとって使いやすい情報提供システムとなるよう、内容の充実と運用の工夫に努めます。
- 県民のスポーツへの興味・関心を高めるため、新聞・テレビなどマスメディアに対して、各種スポーツ情報を積極的に提供するとともに、SNS等を活用し、初めての方でも参加したくなる、スポーツ活動のきっかけとなるような効果的な情報提供に努めます。

2 スポーツ施設の機能の充実と学校体育施設開放の促進

(1) 県営スポーツ施設の機能の充実と活用の促進

県営スポーツ施設は、競技スポーツの拠点として選手や指導者の育成等、競技力の向上に資するとともに、全国大会などの公式競技会場や広域的な生涯スポーツの拠点として重要な役割を担っており、今後も施設設備の機能の充実と一層の活用の促進に努めます。

- 国の補助等を活用しながら、中・長期的な視点で、利用者・団体等のニーズや高齢者・障害者の利用に配慮した施設設備の充実に努めます。
- 各種大会や県民参加型イベントの開催をはじめ、健康・体力相談やトレーニング指導等、ソフト面の充実に努め、県民のライフステージに応じたスポーツ活動を支援します。

(2) 武道館機能を有する多目的施設の整備

武道をはじめ多くの室内スポーツ競技の大会や練習会等に加え、様々なイベントができる武道館機能を有する多目的施設の整備を推進します。

- 武道の大会や日常の稽古や指導者講習会で利用しやすい施設とし、武道の振興・競技力の向上に努めます。
- 武道以外のスポーツ大会や県民の日常的なスポーツ利用、冬季のスポーツの場となる施設とし、県民の健康増進に努めます。
- スポーツイベントや文化イベントの開催など本県の賑わい創出に寄与する施設とし、地域の活性化を目指します。

(3) 学校体育施設の有効活用の促進

地域住民の身近なスポーツ活動の場や住民の交流を生むコミュニティスペースとして、学校体育施設の有効活用を促進します。

- 利用者の割り当てなどの運用方法の見直しや、県立高校の開放可能な体育施設の拡大などを検討し、地域のニーズに応じた学校体育施設の一層の開放に努めます。

3 スポーツ活動を支える組織の充実と交流・連携・協働の推進

(1) スポーツ関係団体等の育成と支援

地域スポーツの推進や競技力向上を図るために、スポーツ関係団体の組織の充実を推進します。

- (公財) 県体育協会や競技スポーツ団体、各学校体育連盟、県生涯スポーツ協議会、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、県スポーツ少年団本部、県スポーツ推進委員協議会、県女性スポーツの会、県障害者スポーツ協会等、本県スポーツの推進母体となるスポーツ関係団体の一層の充実を図ることができるよう、その活動の支援に努めます。
- 総合型クラブが地域住民のスポーツ環境として定着していくよう、また、総合型クラブの質的な充実を図り、自立的な運営へとつながるよう、広域スポーツセンター等と連携し、運営面のサポートや研修会、情報交換会等の開催などの支援に努めます。
- 競技スポーツ団体等の各種研修や会議において、倫理観や規範意識の醸成を図り、体罰やハラスメントの防止に関する指導、ドーピング防止に関する指導・啓発を継続的に行い、コンプライアンスの推進に努めます。

(2) スポーツ関係団体、学校、企業等の交流・連携・協働の推進

多様化する県民のスポーツニーズに対応し、本県のスポーツ推進施策を効果的・効率的に展開するため、行政組織やスポーツ関係団体との交流・連携・協働を推進します。

- 県や市町村、（公財）県体育協会をはじめとするスポーツ関係団体、学校、企業が交流し、本県スポーツについて情報を共有する機会となる研修会等の開催など、横断的に交流・連携・協働できる推進体制の整備について検討します。
- 本県では、市町村のスポーツ行政の充実と発展に資するため派遣スポーツ主事を全市町村に派遣し、これまで、市町村における各種スポーツイベントの企画・立案や子どもの体力向上など、市町村のスポーツ振興に努めています。今後も全市町村に継続して派遣し、県と市町村のスポーツ行政の連携を推進します。

施策目標達成のために参考とする指標

指標名及び指標の説明	現 況	R11
成人のスポーツ実施率 週1回以上、スポーツをする成人の割合	36.2% (R1)	50%程度 (R6:45%)
スポーツイベントの参加者数 富山県スポーツフェスタ、ウォーキングカップの参加者数	93,400人 (H30)	100,000人 (R6:97,000人)